



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship
Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員70名 出席58名 出席率82.86% 前回出席率82.86% 修正出席66名 確定出席率94.29%

ゲストスピーチ

青少年グループとボランティア

柳羊屋社長 石川 実氏



青少年が鶴岡で係わっておりますボランティア活動の状況、又具体例についてお話してみたいと思います。

皆さんのお手許の最終頁に各学校における、いわゆるクラブ活動と云いますが、サークル活動と申しますか、それらが記載されておりますが、これらの学校グループのほか、中学では西郷中学校が県の指定校になっておりまして、ボランティア活動を行っております。又これらの学校の活動とは別に、いくつかの青少年に係るボランティアサークルがあります。例えばB.B.Sという非行少年の友達活動をしているグループ、あすなる会、世代にかける橋、あそびの会その他ロータリーアクトなどの青少年が活躍しております。

県内では特に鶴岡のボランティア活動が顕著であるということでございます。先日も非常に老化が激しい、これからの高令化社会の老人福祉にどう取り組むか、又在宅福祉の問題等も含めまして、県に発足いたしました高令化社会研究所の、地域推進モデル調査委員会で、老人の無差別サンプル500人、ボランティアも同じく500人のアンケート調査の依頼を、市のボランティア協会が受けましたが、何故市の協会が受けたかと申しますと、非常に鶴岡市の殊に青少年を中心としたボランティア活動が、活発に行われているということで指名されたのです。

私もボランティア協会を創立して4年、その間会長を2期務めまして、この6月無事任期満了で、退かせて頂きまして、現在は運営委員として相談相手となっております。青少年のボランティアとよく話し合う機会があり、そのとき一体彼等は何を考え、何をやるうとしているのかと、卒直な意見を聞きますと、吾々は何かをしたい、何か世の中の為に役にたきたいのだと、やる気は十分だが、その機会がな

いということを行います。私も素直に彼等に答えるのですが、現代の青少年、特に高校、中学、或いは大学生までを含めて、非常にシラケているというか私に云わせればオモシロイズムとでも云いますか、非常にプログラムの選択が激しく、興味のあるプログラムですと多勢来るのですが、在宅福祉の問題で少し訪問ボランティアをやってみないかと申しますと、あまり厭なことはさけて通るというような、選択の時代とは云え、好ききらいがはっきりして居りまして、たまにはきらいなものも食べてみないかということも話しております。

先日ボランティアの集いをやりましたが、この集いは毎年市の社会福祉協議会と市のボランティア協議会の共催で、ボランティアを育成する為に毎年ボランティアスクールを開催し、今年も37名程登録がありました。今年の第1回の時は若い人が多く、中でも中学生が3名も参加しまして、テーマは老人福祉、殊に在宅福祉ということで、寝たきり老人の問題が討議されました。

実は先日行政から寝たきり老人が誰に看護を受けているかというデータが出ましたので、あなたが例えば親が倒れたら、或いは嫁にいて姑が倒れたらあなたならどうするか卒直な意見を聞かして貰いたいと、3名程高校生を指名して話しを聞きました。

そのうちの1人の人が、自分の祖母が倒れ、母は仕事を持っている関係でなかなか看護が出来ないので私が母から祖母の面倒をみるように云われましたので、最初は2日に1度という形で祖母の面倒を見ておりましたが、それが3日に1度、5日に1度となり、そうこうしているうちに祖母が亡くなり、私は後悔している。あれも残った、これも残ったという祖母に対して、奉仕することができなかった、大変申し訳けないことをしたということが心残りであった。もし自分の親が、或いは嫁に行った先の姑がそのようになったら、心残りのないような看護を是非したいと思っておりますとのことでした。

自称福祉研究者と云われる金内先生が次のようなお話しを致しております。

庄内空港の建設を推進しましょう

自分の教え子が或る日来て、娘にドキッとすることを云われたので、私は生活を改めました。それは自分の母が倒れ、私も仕事を持っているので十分な看護ができず手拔が多かった。それを娘が、お母さんそんなに自分の親を粗末にするならば、あなたが年をとったときに私もそうするよと云われ、子供というものは教えるのではなく、親の姿をみて育つのだと身にしみて感じ、仕事を一時休職して自分に心残らないよう看護して送られたとのことでした。

私はこの地域の子供達が、美しい心、素晴らしい市民性を持った純粋な考えが高校生時代には有るわけで、生活が変化してくると、それが思うようにはいかなくなって来る。いかにして老人福祉の問題と一生懸命話題にしている青少年は、私は非常にすばらしいと考えております。そのようなすばらしい芽をつみとってしまうのは、私達大人ではないかと反省を迫られたわけでございます。

会長報告

中江 亮君

- 静岡日本平R.C.に静岡を襲った台風について見舞電報を差し上げました。
- 地区年次大会に参加のため来訪される台中港区R.C.と鹿兒島西R.C.の姉妹クラブの歓迎実行委員長として、黒谷正夫国際奉仕委員長に諸準備をお願いすることに致しました。
- 10月1日に繰上げて行われる例会は、鶴岡西R.C.のお申し出を受けて両クラブの合同例会とし、会場は産業会館5Fとする事に致し、先刻理事会のご承認を戴きました。
- 12月7日に予定されてあった公式訪問は、石黒ガバナーのご都合で1月18日に変更されました。
- 土門分区代理より過日のI.G.F.の協力に対する礼状が参りました。
- 本日は青少年活動週間の行事としまして、羊屋社長の石川実さんに“青少年とボランティア”と云うテーマでスピーチをお願いする事にしました。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 例会報告
酒田東R.C.
9月16日の例会を創立15周年のため下記の通り変更。
9月16日 P.M 5:30 美園別館 3,000円
鶴岡西R.C.
9月24日の例会I.C.生徒との交歓会のため
9月24日 3:30～5:30 交歓会
例会 6:00点鐘 大山楼 3,000円
2. ロータリーカレンダーご案内
1983年壁掛用 500円 卓上用 1,000円
10月5日迄申し込んで下さい。(希望者)

年次大会庶務委員会

川村徳男君

庶務委員会から報告と連絡を申し上げます。
当委員会の残る主なる仕事はプログラムの作成と、

公衆電話の設置、関係書類資料の保存ですが、電話は電報電話局長さんをお願いしてあり、書類の保存は大会が終ってからですし、プログラムは昨日原案ができて印刷に廻して、28日に出来上る予定です。今後当委員会の各位のやることは、登録委員会の登録受付ですが、詳細は後日ご連絡致しますのでよろしくお願い致します。

年次大会実行委員会

佐藤 忠君

年次大会もあと2週間あまりに亘りました。庶務の方々ご苦勞されておりますが、その他の委員会の方々も着々準備ができ上りまして有難うございます。ところでご婦人の方々のご出席をご案内致しておりますが、私共ホストのご婦人方のご出席が大変少なく、コーホストの方の出席が多くて、大変はづかしい状況で、P.R.も兼ねて9月25日第一インにて打合せ会を行いたいと思っておりますので、是非多数の方のご出席をお願い致します。

米山奨学会委員会

当クラブでお世話致しておりました、米山奨学生の廖登稔君が9月末日をもって大学での修学も終り、郷里へ帰られることになりましたので、9月17日午後6時、中国飯店に於て送別会を開催致したいと思っておりますので、友情のかけ橋の一端として、是非多数会員の方々のご出席をお願い致します。

スマイル

中江 亮君 前回の確定出席率 94.29%につき

ビジター

温海R.C. 阿部一太君・佐藤五右エ門君
鶴岡西R.C. 児玉光弥君・鈴木昭吾君・
長野正彦君

(今週の担当者 松田貞夫)